科目名	音楽基礎A4							年度	2026
英語科目名	Basic Theory of Music A4							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	田熊 知存		教員の実務経験		有	実務経験の職種		作編曲家	

【科目の目的】

ミュージシャンとして必要不可欠な音楽理論の習得を目的とする。音符の読み書き、音程の把握、調性と音階、コードの仕組み、ダイアトニックコード、ドミナントモーションなどの基礎的な音楽理論を学び、より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏に活かせる知識を身につける。

【科目の概要】

音楽理論を習得するためには、一つ一つの授業の内容を正しく理解していく必要がある。授業中に配布される課題に積極的に取り組み、学生同士で教えあうことでさらに理解を深めることができる。不明な部分があれば必ず担当教員に質問し、理解できない状態で授業を進めることの無いようにすること。

【到達目標】

A.アボイドノートを理解できる
B.ダイアトニック・スケールを理解できる
C.7thコードで使用できるスケールを理解できる
D.リハーモナイズを理解できる
E.ジャズ理論を理解できる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	アボイドノートを理解でき、実際に活用できる		アボイドノートを理解できる		アボイドノートを理解できない
到達目標 B	ダイアトニック・スケールを理解でき、実際に活用できる		ダイアトニック・スケールを理解できる		ダイアトニック・スケールを理解できない
到達目標 C	7thコードで使用できるスケールを理解でき、実際に活用できる		7thコードで使用できるスケールを理解できる		7thコードで使用できるスケールを理解できない
到達目標 D	リハーモナイズを理解でき、実際に活用できる		リハーモナイズを理解できる		リハーモナイズを理解できない
到達目標 E	ジャズ理論を理解でき、実際に活用できる		ジャズ理論を理解できる		ジャズ理論を理解できない

【教科書】

「決定版音楽理論ワークブックポピュラー音楽を完全理解」

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	音楽基礎A4	年度	2026
英語表記	Basic Theory of Music A4	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	アボイドノート	アボイドノートを理解する	1	不協和音	不協和音について理解できる		
			2	アボイドノート	アボイドノートについて理解できる		
			3	経過音	経過音で使用されるアボイドを理解できる		
2	コードスケール①	ダイアトニック・スケールを理解する①	1	特性音	特性音について理解できる		
			2	イオニアン	イオニアンスケールについて理解できる		
			3	ドリアン	ドリアンスケールについて理解できる		
3	コードスケール②	ダイアトニック・スケールを理解する②	1	フリジアン	フリジアンスケールについて理解できる		
			2	リディアン	リディアンスケールについて理解できる		
			3	ミクソリディアン	ミクソリディアンスケールについて理解できる		
4	コードスケール③	ダイアトニック・スケールを理解する③	1	エオリアン	エオリアンスケールについて理解できる		
			2	ロクリアン	ロクリアンスケールについて理解できる		
			3	HMP5↓	HMP5↓スケールについて理解できる		
5	コードスケール④	7thコードで使用できるスケールを理解する①	1	ホールトーン	ホールトーンスケールについて理解できる		
			2	ディミニッシュ	ディミニッシュスケールについて理解できる		
			3	コンディミ	コンディミスケールについて理解できる		
6	コードスケール⑤	7thコードで使用できるスケールを理解する②	1	オルタード	オルタードスケールについて理解できる		
			2	リディアン7th	リディアン7thスケールについて理解できる		
			3	クロマティック	クロマティックスケールについて理解できる		
7	コードスケール⑥	ペンタトニックスケールを理解する	1	メジャーペンタ	メジャーペンタスケールについて理解できる		
			2	マイナーペンタ	マイナーペンタスケールについて理解できる		
			3	ブルーノート	ブルーノートについて理解できる		
8	コードスケール⑦	日本の民謡スケールを理解する	1	ヨナ抜きメジャー	ヨナ抜きメジャースケールについて理解できる		
			2	ヨナ抜きマイナー	ヨナ抜きマイナースケールについて理解できる		
			3	琉球	琉球音階について理解できる		
9	コードスケール⑧	世界の民族音楽のスケールを理解する	1	スパニッシュ	スパニッシュスケールについて理解できる		
			2	アラビック	アラビックスケールについて理解できる		
			3	ジプシー	ジプシースケールについて理解できる		
10	リハーモナイズ	リハーモナイズを理解する	1	リハーモナイズ	リハーモナイズスケールについて理解できる		
			2	実践	リハーモナイズを実践できる		
			3	応用	リハーモナイズを応用して使用できる		
		アッパーストラク	1	UST	USTについて理解できる		

11	ジャズ理論	チャートライアドを理解する	2	構成音	構成音を理解できる		
			3	パターン	様々なUSTのパターンを理解できる		
12	ジャズ理論	リディアンクロマティックコンセプトを理解する	1	LCC	LCCについて理解できる		
			2	リディアントニック	リディアントニックについて理解できる		
			3	応用	LCCを応用して使用できる		
13	ジャズ理論	アウトサイド、インサイドを理解する	1	アウトサイド	アウトサイドについて理解できる		
			2	インサイド	インサイドについて理解できる		
			3	サイドステッピング	サイドステッピングについて理解できる		
14	後期試験対策	後期試験に向けた対策	1	総合復習	後期に学んだ内容を復習できる		
			2	質疑応答	不明な部分を積極的に学習できる		
			3	模擬テスト	模擬テストに取り組み試験対策できる		
15	2年次の復習	2年次に学んだことを振り返る	1	後期試験の添削	後期試験を見直し、間違えた箇所を自覚できる		
			2	質疑応答	不明な部分を積極的に学習できる		
			3	2年次の目標	2年次の目標を立て、自発的に学習できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等